

一般質問 原田 芳男 議員



子育て支援の充実及び問題点の解決を

町長 抜本的見直しをしていきたい

問

現在、0歳児19名、5歳児までで10名の待機児童が生じている。

開設当初目的の一つである、待機児童の解消などが破綻しているのは明らか。土曜保育や一時預かり事業についても当初目指していた方向とは明らかに違い、極めて不十分。直ちに改善が求められる。施設の手狭は明らかで、増設か旧八幡保育所の再開が必要では。

また、保護者から次の要望が寄せられている。

- ①ぬくぬくの周辺道路に歩道を設け、除雪してほしい。
 - ②保育園の園庭の柵を常設にしてほしい。
 - ③送迎の時間以外はオーロックで施錠してほしい。
- 放課後児童クラブは町の条例で小学校6年生までが対象学年になっているが、この完全実施はいつなのか。

町長

現在の制度にしてから

0歳児については6名から30名に定員を増やしたが、予想を上回って19名の待機となった。

原田議員からの提案である旧八幡保育所の再開や増設はすぐには打ち出せないが、運用の中で軌道に乗せるよう取り組みたい。

土曜保育についてはさらに認定こども園と対策を講じていく。次に、寄せられている要望については、

- ①自衛隊官舎の敷地なども関連するので交通量なども勘案し取り組む。
 - ②園庭の柵については冬期間の除雪による損傷もあることから冬季は取り外し、外遊びで飛び出しのないよう十分配慮していく。
 - ③現在も施錠をしているが、呼び鈴がないので張り紙で対処している。インターホンの設置を考えている。
- 放課後児童クラブについては、教育部局と連携を図り現在の状況となっている。

新たな拡大方策として南

児童館の整備をして対処したい。将来さらに増えることも考えられるので抜本的見直しをして参りたい。

G 20 観光大臣会合

問

G 20 観光大臣会合には北海道の実行委員会に2700万円、町の推進町民会議に3000万円の支出が予定されているがどのような事業が実施されるのか、支出に対しての投資効果はどのように見積もっているのか明確にする必要がある。原発事故なども心配でないか明確な答弁を。

町長

事業計画の一つ目は啓発物資の作製、子どもたちによる参加事業、PR動画作成など広報PR事業費1450万円。二つ目はカウントダウンイベント、関連商品開発などの事業費として1100万円。三つ目は施設職員の研修、地元食材の提供などおもてなし事業として250万円。四つ目は総務費として200万円です。

合計3000万円。

次に、波及効果については観光庁が発表した日本国内での国際会議における外国人一人あたりの消費額は37万円あまりであり、200名参加と想定すると7400万円の経済効果になる。ご質問の投資に対する波及効果は最大3000万円程度と考えている。

高齢者住宅の要望

問

高齢者の方々の大きな要望として、買い物に便利なおところに高齢者向けの住宅があればと願っている。

4年前の西江町長の公約に高齢者住宅の建設があったが、この実現は。

町長

高齢者住宅の課題への取り組みは、民間資本による高齢者専用賃貸住宅の建設を基本とし、その事業への補助を国の制度も活用しながら進めてい

きたいと考えている。

問口除雪

問

問口除雪について冬の暮らしの除雪は大きな問題。特に玄関前の置き雪の除雪は高齢者や女性には大きな悩みになっている。いつまでも聞き置いただけでなく町としての取り組みが必要ではないか対策を伺う。

町長

現在、問口の除雪は町民個々の努力、ご近所や町内会でさまざま取り組みされている。町としても検討しており、除雪ヘルパーの利用者の状況調査なども行っている。現在は業者への依頼などで乗り切っており、将来も安定して住み続けるために重要なことと考えている。引き続き検討を深めたい。

この他にも、「原発について」を質問しました。